

## 大阪市航空写真(大正 13 年)一括(4 点)

### 大阪市航空写真(大正 13 年)

おおさかしこうくうしゃしん(たいしょう 13 ねん)

#### 分野／部門

有形文化財／歴史資料

#### 所有者

大阪市(大阪城天守閣)

#### 所在地

中央区大阪城

#### 紹介



### 大阪市航空写真(大正 13 年)

わが国の航空写真の歴史は、大正後半から始まり、その後新たな技術と器材の導入が図られ、昭和初年には実用化の段階にいたった。大正 13 年 2 月、大阪市は将来の都市計画事業に役立てるために、陸軍に依頼して計画区域の垂直撮影による航空写真を撮影した。最初期の実地訓練を兼ねたものであったため、期待したほどの成果を得ることはできなかったが、この時の経験をもとに改良が加えられ、昭和初期には実用化にいたった。この時に撮影されたガラス乾板のネガが 4 枚、大阪城天守閣に伝わっている。撮影の状況を知らせる新聞報道の内容も合わせると、わが国の航空写真導入期の状況が理解される。